



3冠達成して、岩手県を制す!

平成23年度の岩手県高校野球大会の締めくくりとなる「第64回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会」をみごと優勝し、春・夏を含めた3季連続優勝で、年度内県初となる快挙を成し遂げた。

震災から復興へと歩み始める県民に勇気と希望を届けたいと、練習に励んできた硬式野球部の悲願が、まさに達成された。



文化祭で記念講演会を催す

ソフトボール元日本代表監督の宇津木妙子氏を招聘して、10月1日に本校第1アリーナで夢の文化講演会が実施された。

講師本人の実体験をもとにした『夢と人生』と題しての感動的な講演に、一つの目標に向かって一致団結することのたいせつさと、そしてそれによって強いチームが生まれることを学ぶ。



柔道部の奉仕清掃活動も3年目に

今年度、加藤夕紀子選手がインターハイ出場を果たした柔道部による清掃活動も3年目を迎え、通算6回目となった。

柔道部父母の会が主催を、学校の建学の精神である「感謝・報恩・奉仕・勤勉・進取」を具現化すべく、定期的開催されている。

花巻駅からの通学路や、花巻球場周辺等の広範囲にわたり地域貢献に励んだ。



被災地支援に、学校を挙げての協力を

東日本大震災の支援活動として、生徒会執行部では文化祭を行なうにあたり、会場内に募金箱を設置したり、模擬店の益金の一部を寄付することとした。

また、これに協力する形でPTAもバザーの益金を寄付することとなった。

11月2日には日本赤十字岩手県支部花巻市地区に寄付するため、佐藤武瑠生徒会長・伊藤理事長等が花巻市長を訪ね、義援金を託した。